

## 令和元年度第2回スポーツ推進審議会 各委員からのご意見まとめ

「施策1 生涯スポーツの推進」について議題メモの質問事項より、委員の皆様から頂きましたご意見を簡単にまとめました。(確認、質問事項は除く)

第3回審議会では、Q1～3の追加のご意見を伺ったあと、Q4～6への進行を予定しております。年齢層やターゲットを限定した活動や、他市町村での取組み事例など、活発なご意見を頂ければと存じます。

Q1：乳幼児や子どもを対象にしたスポーツ・レクリエーション事業について、ご意見、ご感想をお聞かせください。

- ・0～2歳児を対象に、雑木林で外遊びをする事業に取り組んでいる。体力づくりの基礎となる内容の活動なので、スポーツに結び付くものとする。
- ・幼児期に楽しみながら外遊びで体力づくりに取り組むことは効果的で、学生の場合では競技を限定せず様々なスポーツに取り組む機会を作ることが良いと考える。
- ・夏休みにラジオ体操会を行うと、体操を覚えていない小中学生が多い。良い文化なので学校体育で行うなど、存続できたらと考える。
- ・乳幼児期の野山での活動は、運動神経を養うことや親子での参加に効果的なので、取組みが増えたらよいと考える。また、中高生を対象に活動の指導者を育てることも必要だと考える。
- ・森林の公園にアスレチック等の設置も子どもの運動推進につながると考える。

Q2：成人や高齢者を対象にしたスポーツ・レクリエーション事業について、ご意見、ご感想をお聞かせください。

- ・高齢者は老人会等の所属単位で、高い頻度で積極的なスポーツ活動に取り組む方が見られる。一方で成人は競技スポーツなど高度な活動内容が見られる一方で、日頃スポーツを行わない一定数の層にいかに参加してもらうかが大切と考える。
- ・地区体育館で管理人をしている立場から、各時間帯で利用者層が異なり施設や個人にあったスポーツに取り組んでいる方が多いと考える。成人は夜間に利用する方が多いが、人数が少ないのでリーダーを育成するなど活動を広げる取り組みが必要と考える。
- ・スポーツニーズに対するアナウンスの強化が大切と感じる。気軽に身近に利用できる場所や、道や広場などの活動場所の整備が大切と考える。
- ・開放的な場所があると良い。他市町村では、託児所のある公共施設でヨガ教室やピラティス教室を開催したり、プール、トレーニング施設に託児所が併設されている場合があり、子育て世代が気軽にスポーツに参加するきっかけになっていると考える。
- ・スポーツをやらない理由や世代を見ると若い世代、子育て世代が多いので、子供と一緒に参加できる内容や手軽にできる内容であると、体を動かすきっかけとなるので、若い層の活動を増やしていくことも大切と考える。